



No. 581

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円



前川喜平元文部科学事務次官を囲んで関東ブロック交流集会参加者 (2022. 10. 17)

政府・自民の統一協会癒着の徹底調査を 岸田内閣の政策転換、退陣掲げ奮闘しよう

岸田政権は、統一協会との癒着が相次いで発覚した山際大志郎経済再生相が10月24日、ついに辞任に追い込まれました。政府・自民党と統一協会との底なしの癒着の徹底調査を強く要求します。円安、暮らしと営業を直撃する物価高騰、社会保障の負担増に對する実効ある対策ありません。

ロシアのウクライナ戦争を口実に「敵基地攻撃能力」保有をはじめ軍備大増強をねらう岸田首相は、軍事費を5年以内にGDP（国内総生産）比2%以上をもくろんでいます。これを許せば、国民には大増税、社会保障や教育費の削減が待ち構えています。新型コロナウイルスの「第8波」がドイツなどで猛威を振っています。冬に向かつて、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されます。医療体制の抜本的拡充を政府に要求しましょう。

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は10月11日、立憲民主党、日本共産党、社民党の野党3党に対し、「12項目の要請書」を提出しました。要請書は、「岸田内閣の支持率は急落し、政治の潮目は確実に変わろうとしている。今こそ立憲野党は、岸田内閣の政策転換、退陣を掲げて奮闘する時だと考えます。野党各党が共闘して闘うこと」を呼びかけました。

国賠同盟が先人たちの不屈の闘いに学んで、国会請願署名活動と結んで全国での運動の先頭に立って奮闘し、賛同の声を巻き起こそうではありませんか。

主 な 記 事

- ブロック交流会始まる 2
- 私も一言／神谷国善 3
- 各県本部大会・総会 3
- 抵抗の群像／九津見房子 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

ブロック交流会報告

地から「わが青春つぎるとも」

東海ブロック

3年ぶりの開催

10月6日～7日、東海ブロック

交流集会在3年ぶりに静岡県伊豆長岡温泉のホテルサンバレー富士見で開催、東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)53人が参加し学習と活動交流、親睦をしました。

集会では、吉田万三中央本部会長があいさつで、情勢問題を深く語りました。また、若山晴史中央副会長が「伊藤千代子の時代と現代」と題して講演、資料をもとに



治安維持法問題を歴史的に詳しく解明するとともに国賠同盟の役割を深くつかむ話がされました。また各

上映会の取り組みの経験が語られるとともに目的意識的な努力で会員拡大がすすんでいる活動経験などが出されました。

夜の懇親会では地元のどんぐり合唱団も駆けつけて場の盛り上げに一役買ってくれ、楽しく親睦をはかるとともに、ブロック全体として前進をはかりながら、全国2万の会員実現に力を尽くしていく決意を固めました。

(静岡県本部事務局長・早崎未浩)

関東ブロック

3都県で自主目標を達成

「来年は、全県で自主目標達成し、支部活動の経験交流を」

10月16日～17日、山梨県清里高原で関東ブロック交流会を行いました。昨年は、支部活動の経験を各県から報告し交流。今年は、県の活動と支部活動を交流しました。埼玉、千葉、東京の3県が自主目標を達成し、5県が前進し、昨年の交流会から203人増やして開かれました。



今年は、

各県の取り組みと総括を全参加者に配布、それにもとづく発言を重視しました。

記念講演

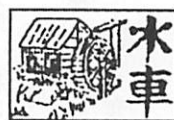
は前川喜平さんにお願ひし、「安倍の教育再生と国葬」と題した講演でした。

感想文には「県本部の活動、支部活動の交流に勉強になった」と初参加の県役員。「支部活動の経験が聞けて有意義でした」「夜の交流会、本音の交流でよかった」と寄せられました。

前川さんの講演は、もっと聞きたかったとの感想もありましたが、時間オーバーの2時間でした。

来年は、全県が1000人を超え、500人、1000人めざす県を増やしていくことを確認しました。

(都本部事務局長・中嶋育雄)
(3ページにつづく)



今年は沖縄返還から

50年の節目で、二つの沖縄をテーマにした優れた芸術を観た。一つ、映画「島守の塔」(五十嵐直監督)は、米軍上陸が迫る中、主人公島田叡が沖縄知事として着任。戦局が激しくなり失望する県民に「生命を大切にしろ」「生きて家に帰るんや」と。この

魂の叫びで県民は心を開き、延べ20万人の命が救われた▼2つ目は青年劇場の芝居「豚と真珠湾・幻の八重山共和国」。戦時中に日本軍の命令で、マリアアが蔓延していた石垣島山間部に疎開させられ県民の惨状。戦後、激変の渦のなかで料理屋の女主人、台湾人の元軍人、元教師らが戦争体験の思いを語る▼2作とも登場人物の語る言葉に、今の沖縄の苦痛と矛盾を本土の国民に問いかける、「本土復帰って何だったか」。1971年、瀬長亀次郎は国会で佐藤首相を追及した。「風にさらされた遺骨が大地と化した沖縄。再び戦場にするな、沖縄を平和の島にして返せ、と叫んでいる」。(澤)

(2ページからつづく)

北信越ブロック

10月4～5日、福井県あわら温泉で「北信越ブロック交流会」

今年のブロック交流会は、福井県で開かれ、中央から吉田万三新会長、田中幹夫事務局長が参加。

長野・新潟8人、石川4人、現

地福井から14人、富山の丸山会長が参加しました。

講師に「原発銀座」と呼ばれる

福井ならではの明通寺住職・中寫哲演氏を迎えて行なわれました。

中寫氏は、福井での原発立地条

件の都合のよさを説明し、そのもとでの粘り強く「原発ゼロ」をめざす運動が続いている様子を報告、

世界中で広がる「ロシアはウクライナから手を引け」の声を高める決意を固めました。

吉田会長は、「初めて北信越の会議に参加して大変有意義な時を過ごした」と挨拶。さらに、国際

的には、ウクライナ、中国と台湾、北朝鮮、国内では、『国葬』の強行、大軍拡と憲法改悪、などなど

今日ほど、国賠同盟の存在意義が問われているときはない」とあらためて強調しました。

田中事務局長は「支部こそが原点」と強調。特別報告として、新潟・上越支部の田中支部長が、支部を再建して前進している経験と

石川県本部尾西会長が「9月の6会場8回の千代子映画上映会に4

60人が参加、参加者に呼びかけて次々と28人が入会し、200人県目標に到達した経験」を話しました。

コロナ対応をしつつ、久方ぶりの夕食交流では参加者全員が発言、来年長野で開催する交流会での再会を誓いあいました。

(福井県本部事務局長・村井慶三)

各県本部の大会・総会

石川 「国葬」反対を決議

一言

コロナ禍で各地の祭りがお見送りの中で、京都祇園山笠巡行、阿波踊り、野外演舞場上演が3年ぶりに行われた。祭祀は収穫への感謝と祈り、厄災払い行事で、供物と歌舞音曲の舞台が付き物。

私は、博多

まつり男の弁

神谷国善

まくり「玉音」を頭から吹っ飛ばした。それから演劇・うたごえ運動を16年、日本共産党本部「赤旗まつり」の

裏方仕事を22年間つとめた。

そして近く全日本年金者組合練馬支部主催「第26回おらが祭り作品・演芸展」を迎える。祭りはやはり、平安とみのりを願う民衆の結集場に外ならない。

(全日本年金者組合員)

9月3日、第39回総会と記念講演会を開催しました。記念講演では、イラストレーター・漫画家『漫画 伊藤千代子の青春』などの著者のワタナベ・コウさんが「伊藤千代子が問いかけるもの」と題して講演しました。

コウさんは、当時の日本は絶対主義的天皇制のもとで、国民は貧困と無権利状態に置かれていて、千代子は貧困や不平等をなくすため自ら活動する道を選んだこと、治安維持法下、1928年3月15

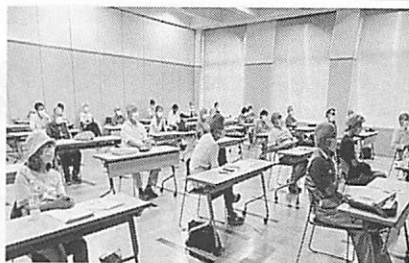
(4ページにつづく)



山笠祇園祭りに程近い神郡宗像の地に生まれ育った根っからの夏まつり男。土木業の父と、里山樹で母が作ったガメの葉饅頭

で育った。それが治安維持法発布。町の水平社運動員が捕まり「戦争が廊下の奥に立っている」と詠ま

(3ページからつづく)



日の大弾圧で投獄され、拷問にも屈せず志を貫いたこと、「自由にもノが言える先に平和の大切さがある」との言

葉を紹介し「千代子の映画を素材に日本近代の歴史を学習し、より多くの人と語り合おう」と述べました。

総会は活動方針や役員体制(会長・尾西洋子、事務局長・堀井三吉)などを決め、岸田内閣の国民への「国葬」押しつけは許さないと「故安倍晋三元首相の国葬に反対する決議」を採択しました。

(県本部事務局長・堀井三吉)

京都 高まる同盟の役割

京都府本部は、9月10日、13時から第37回本部総会を長浜バイオ大学京都キャンパスで開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大が収ま

らない状況の開催で人数・時間を制限してとなりました。

原田完会長は開催あいさつで、安倍元首相の「国葬」問題、統一協会問題などにもふれ高まる同盟の役割を強調。同盟中央本部はじめ友好団体からのメッセージ紹介に続いて「山本宣治とその時代」京都治安維持法犠牲者名簿発刊の意義について本庄豊氏(立命館大教員)が講演しました。

「活動報告と運動方針案」の提案に立った藪田事務局長からは、「わが青春つきるとも」上映運動の成功に確信を持ち新たな前進を目指すこの一年の活動方針が提案され、討論では遅れている京都の犠牲者名簿作成についての意見が出されました。

討論のあと、活動報告・方針、会計報告と予算案、監査報告が承認され、役員を代表して原田会長が決意を表明しました。

府本部会長に原田完、日本共産党京都府会議員団团长(現職)、事務局長に藪田均男を選出しました。

(府本部事務局長・藪田均男)

NHK金沢局が映画「千代子」を朝のニュースで報道

小松実中央本部副会長の発言

NHK金沢局が朝のニュース番組で石川県の映画『わが青春つきるとも』上映運動を紹介しています。番組はニュースの枠の中で6分間使って映画の冒頭の場面や拷問の場面などをおり交ぜながら、石川県で上映運動に取り組んでいる司法書士の円山幸一郎さんのインタビューを中心に放送していました。

円山さんのお父さんは治安維持法の犠牲者だそうです。弾圧に屈しなかった、転向しなかったということをお父さんは誇りにされていたようです。その思い出や今の映画「わが青春つきるとも」の上映運動に取り組む意義などを円山さんが、静かに、しかし確信を持って語っていました。

ニュース番組には石川県が作った250人に及ぶ犠牲者の名簿、その一部が紹介されていました。この番組はNHK東海放送局でも放送されたということです。

地方局には良識のある報道人がいるんだという風に思いました。10月15日、中央本部から送られてきた会員現勢と署名の月報を見てまた驚きました。

石川県の9月度の会員拡大はなんと28人で全国トップでした。東京都の25人という大奮闘をうわまわる成果でした。

上映運動の中で「再びあの暗黒時代を繰り返してはならない」そのためにも今同盟運動が本当に大事なんだという意思統一がなされ、尾西洋子会長が大奮闘した結果ではないかと私は思っています。

関東ブロックの中にもこの上映運動と結んだ会員拡大や支部づくり、署名運動の推進と様々な教訓に飛んだ取り組みがあるかと思っています。

学習や顕彰活動もあれこれ取り組まれているんだろうと思います。極めて限られた時間であり、けれどもお互いの運動の状況や教訓を交流し合って有意義な会議として帰ってからのお互いの活動のエネルギーにしていけたらと思っています。

顕彰碑

探訪

ひしかたよし
土方与志 土方梅子

弾圧に抗して新劇運動を貫く

土方与志

本名久敬、演出家。1893
(明治31)年4月16日、旧土佐藩士枢密院顧問伯爵土方久元の嫡孫として東京小石川林町に生まれる。土方邸は日本初の洋館。

18年、祖父の死の前夜三島梅子と結婚、20歳で襲爵。22年、東京帝国大学卒業後渡欧。パリ、ベルリンで演出の理論を学ぶが、関東大震災で帰国。24年私財を投じて日本最初の、劇場をもつ新劇団築地小劇場を創設、新劇人を養成。29(昭和4)年モスクワに赴き、ソ連作家同盟第1回大会での発言を理由に華族史上初の爵位剥奪処分を受ける。37年国外退去を命じられフランスに住むが、生活に行き詰まり

土方梅子

大正・昭和期の舞台衣装家。日本銀行総裁・三島弥太郎と、軍人・大山巖の長女信子の二女として東京に生まれる。16歳で与志と結婚。夫の築地小劇場創立に加わり、衣装部主任を務め舞台衣装家として活躍。夫が社会主義に傾向し、1931年日本プロレタリア劇場同盟に参加、翌年夫婦とも検挙された。終戦まで投獄される。

戦後1964年「秋田雨雀・土方与志記念『青年劇場』」を作る。17年青年劇場が「梅子とよっちゃん」を上演。都立染井墓地

「交通」JR巢鴨駅から7分
中央本部 中嶋育雄

「県本部大会成功をめざす同盟建設特別期間」

10月7日に開かれた新潟県本部理事会は、第40回県本部大会(12月10日)の成功をめざして、11月1日〜30日までの1カ月間、「同盟建設特別期間」として、質量とも同盟組織を大きく前進させるために全力をあげることを意見統一。質的には「国賠同盟に入っ

てよかった」と実感できる同盟づくりを力をつくし、量的には過去最高の会員数307人を突破し、県本部大会を迎えることです。

10月中にすべての支部が会議を開き、11月中に



どれだけ組織(会員数)に到達するかという目標とその実現のための計画を決めて実践しましょう。
(「不屈」新潟県版10月号より)

支部結成目指し会員を80人に

北海道江別班役員会

千代子の映画成功を力に7月20日、札幌支部江別班は役員会を開き、映画上映成功を力に、今後の活動を協議しました。その中で、

10月1日に江別支部結成の大会を持ち、それまでに会員を80人にすることを決めました。課題は支部ニュースの発行体制などですが、体制確立のために奮闘することを決めました。

(「不屈」北海道版10月号より)

「国葬に反対し、弔意の強制を行わないことを求める」申し入れ文書を埼玉県知事宛に提出する

9月13日、同盟埼玉県本部とレッドページ反対埼玉連絡会は、大野元裕埼玉県知事宛に、「国葬に反対し、弔意の強制を行わないことを求める」申し入れ文書を手渡しました。

日本共産党の柳下礼子県議団長にも同席していただき、当日は、埼玉県知事室に申し入れ、懇談しました。

懇談では、私達の団体の歴史なども紹介しながら、まさに憲法からも逸脱する国葬になぜ反対するのかを語り、3点の要望を強く要請してきました。

(「不屈」埼玉県版10月号より)

抵抗の群像



子どもを「泣かせ」てしまった

九津見房子

1890(明治23)年、岡山市弓之町生まれの九津見房子。山川均と出会い、憧れ、17歳で家出して上京、福田英子のもとで働く。

東京・角筈で多くの社会主義者と触れ合い、19歳で「特別甲号要視察人」となり官憲の尾行がつく。

高田集蔵との結婚と離別の後、2人の娘を連れて東京に出た。女性の社会主義団体「赤濁会」の発起人の1人になった。

1921(大正10)年の第二回メーデーに女性が初めて参加したが、それだけで房子らは検挙された。

23年から岡山、藤田農場争議、大阪で印刷労働組合の結成、産児制限運動と浜松楽器争議などに駆け巡る房子は2人の娘とは別れ離れになった。

娘は戸籍の上では私生児だった。

2人の娘は転居、別居を繰り返し、子どもらしい安穩な暮らしができなかった。

三・二五逮捕された房子と一燈子

27年には日本共産党に入党し、非合法活動に入った。翌年に房子は長女の一燈子と北海道に渡った。第一回普通選挙で労働党から立候補する山本懸蔵のオルグに派遣された三田村四郎と札幌で活動したが、三・一五事件で検挙された。女性で最初の治安維持法犠牲者となり、札幌刑務所に5年服役してやっと満期出所した。

一燈子も房子といっしょに検挙され、札幌署で拷問を受けた。獄舎の渡り廊下で深編み笠に手をかける母の房子と行き違う一燈子。

40日も勾留された一燈子は、実父の高田に渡された。札幌刑務所を満期出所した母と再会したのは5年後の33年6月であった。

房子と「山宣」

産児制限運動と労働運動で房子は「山宣」と出会い、従兄の安田徳太郎とは終生、交流を持った。

山本宣治代議士は特高警察の女性に対する残酷な拷問を帝国議会に糾弾するため、札幌で検挙された房子の公判を傍聴し、面会した。一燈子さんがEテレに登場

2018年夏にNHK Eテレが放映した証言「治安維持法」検挙者一〇万人の記録が明かす真実

大竹さんが著した『母と私 九津見房子との日々』では、治安維持法下で日本共産党の活動に没頭する母との暮らしを少女の息づかい、子どもらしい夢と希望を持ちながら、大阪、神戸、東京、そして札幌と転々と繰り返す日々。少女の見た治安維持法下での厳しい生活がリアルに語られている。

一燈子が房子と札幌で検挙されたのは28年4月で、14歳の一燈子は札幌署で拷問を受けた。泣き叫ぶ自分の声を隣の部屋の母に聞かせた特高の残忍さ、非道な取り調べもリアルに語られている。

「ゾルゲ事件」

「ゾルゲ事件」とは反戦運動と結んだ諜報活動。戦時下で「労働者の国、ソビエトを守るため」と宮城与徳の活動に協力した房子は41年10月に逮捕され、和歌山刑務所に4年投獄された。非転向を貫き、合わせて10年近く獄中にいた。

「和歌山刑務所」と山代巴

山代巴は、刑務所での房子を「いつも端座して食台に置いた本に目を落とし、古武士然としていた」と語った。房子は「思想のために親を泣かせた人もありますが、私は子どもを泣かせてきました。生きて娑婆へ帰れたら子ども孝行をさせていただきます」と話している。

45年10月15日、治安維持法の廃止で、房子はおできだらけの痩せこけた体で和歌山刑務所を出た。

斎藤恵子著「九津見房子」声だけ残して、堀和恵著「評伝 九津見房子」大竹一燈子著「母と私 九津見房子と日々」、牧瀬菊江編著「聞き書き 九津見房子の暦」から。

(岡山県本部・福井正樹)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

教え子を統一教会に取られたる悔しさ思えばまた怒り湧く

岐阜県 田中 良

デニー知事の再選ニュースに若返る本土より心のカチャーシーにとぶ

大阪府 丸尾 ことよ

空き家になるわが家の壁に党ポスター続けて貼るを支部に頼めり

大分県 渡辺 幹生

台風ではがれたポスター張りなおす党の顔なり無駄にはしない

埼玉県 細谷 宜朗

木洩れ日の岡の無言館佇めば若き画家たちの無念の声する

埼玉県 福家 駿吉

知多の地に夫の意志継ぐ妻のいて「千代子」上映券三十枚を売る

静岡県 江川 佐一

あの嘘で命断ちたる人がいるなんで許せよう安倍の国葬

東京都 杵淵 智子

丁寧な真摯になどと言うばかり中味など無き総理の言葉

岐阜県 和田 昌三

誰一人取り残さない一ミリもぶれることなしデニー知事当選

島根県 小玉 信恵

沖縄の玉城知事勝ちて勇気づく辺野古を阻止へサンゴとともに

福井県 元山章一郎

〈選のあとに〉田中作品、教え子を統一教会に奪われた痛恨。丸尾作品、沖縄知事選の勝利を「若返る」と歌ったのは印象的。渡辺作品には、党によせる思

いが深く歌われている。

俳句

望月たけし選

白杖の探る冷えびえ改札口

東京都 岡崎たかね

モスクワもキーフも良夜地続きに

神奈川県 天野三葉子

秋桜ひかり溢れて開花せり

埼玉県 大野 辰男

コスモスや民意汲めない政権と

三重県 橋本しげる

隊列へ復帰に励む秋高し

埼玉県 小池 莊八

〈評〉一句目の白杖のノックは、誰も一生懸命生きているすがたです。三句目の秋桜はコスモスです。出来事が次々起こった秋でしたが身近かに溢れたコスモスのひかりは力になりました。

川柳

鈴木いさお選

文無しで旅行支援も無関係

東京都 中村 茂樹

〈評〉とどまることない物価高へ、医療費負担増が追い討ちで食べてゆくのがやっとな。いくら支援してくれても、旅行などに向けるおかねなどありません。国葬に快哉叫ぶカルト党

北海道 三隅 雅彦

ミサイルで市民殺戮これがテロ

大阪府 佐々木雅博

プーチンの野望のために民犠牲

大阪府 大和 峯二

貸さぬ耳役に立たない聞く力

埼玉県 福家 駿吉

玉野9条の会 平和の鐘

玉野の9条の会は、9月9日

9時9分に平和の鐘を鳴らす「平和の鐘を鳴らそう」を取り組みました。実行委員会は、市内10寺院の協力を得て毎年行い、今年で15回目になります。

当日は10寺院に、あわせて54人の参加者がありました。

戦争の犠牲者や、ヒロシマ・ナガサキの原爆の犠牲者、自然災害で亡くなられた人びとへの慰霊と、ウクライナ危機の早期解決、新型コロナウィルス収束への思いを込めて9999の鐘をならしました。

参加者からは、「早くロシアのウクライナ侵攻が終結してほしい」「戦争のない世の中が一番」といった声がかれました。

(玉野民商事
務局長 荒木大
輔「不屈」岡
山県版10月15
日号より)



映画「わが青春つきるとも」
上映運動コーナー

「お帰りなさい、伊藤千代子さん」

10月14日18時10分から、東京女子大学キャンパスで「伊藤千代子」

の上映会が開催されました。

主催は「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」を上映する会で、共催団体として、キリスト教センター、教職員サークル「平和を考える会」、「映画研究会」でした(写真・ポスター)。

上映前に宗教主事の城倉さんの案内で、学内を見学。伊藤千代子らが、実際に生活していた東京の個室と同じタイプの部屋が保存展示されていました。映画にもありましたが、消灯後、ローソクの灯りで勉強をしていた3畳ほどの小部屋でした。

上映に先立ち、桂荘三郎監督からのあいさつがあり、上映後、森

本あんり学
長の挨拶
「こういう学
生を生み出
した東京女
子大学を誇

りに思う」、さらに古沢希代子教授の「政治に関わることを諦めてはいけないと言いたい」との言葉に大変、感動しました。

350会場・6万人参加到達記念

「わが青春・オリジナルサウンドトラック」CD発売

感動のアンコール上映会も始まった10月末、同盟主軸開催の「わが青春……」は、350会場に6万人参加者を迎えました。

この間、上映会で感動し同盟入会者が各地で増えています。映画は戦前のたたかいと抵抗をリアルに再現したことが感動と共感、たかうエネルギーを生み出しています。その名画面を引き立てる音曲は、本年の映画界の秀逸と高い評価が与えられています。

そのオリジナルサウンドトラックを36分にまとめてCD(写真)にしました。題して「千代子の運

命、愛、そして希望」。頒価2500円・T180円。申込先・全国の会 FAX 04・

7174・2028



藤田

【支部結成】

北海道江別市支部

10月1日、北海道に70人で結成しました。(本紙5ページ

「北から南から」参照)

・東京港支部

10月30日、東京港区に13人で結成しました。

【訂正】

本紙10月号3ページの「私も一言」殿平善彦さんのルビを「とのひら」に訂正します。

事務局日誌

10月4〜5日 北信越ブロック交流会

10月5日 全労連会館運営委員

10月6〜7日 東海ブロック交流会

10月7日 「不屈」編集会議

10月12日 笹の墓標展示会・築

10月14日 地本願寺

10月15〜16日 新年名刺依頼全県送付

10月16〜17日 第67回日本母親

10月16〜17日 大会埼玉&群馬

10月31日 関東ブロック交流会
中央3役会議

2022年秋季号 (44号)

『治安維持法と現代』

好評発売中

治安維持法と現代



【主な内容】〈巻頭論文〉岸田政権を覆う統一協会の闇=五十嵐仁、国民に弔意を強制する憲法違反の国葬=中田進、ウクライナ戦争と日本の軍拡を考える=山田朗、なぜ憲法9条が大切か—21世紀の人類の「導きの星」=金子勝、〈基礎学習〉ジェンダー問題=坂井希、「防衛白書」と自衛隊=小泉親司、統一協会と自民党の癒着=柿田睦夫、維新の会の今—その本当の姿=西谷文和、〈文化・芸能〉松本清張没後30年に寄せて=高橋敏夫、生誕100年ドナルドキーンの平和思想、没後90年を前に小林多喜二の文学、テレビ評・戦後77年の夏、〈特別リポート〉菱谷良一さん・生活図画事件をめぐる道東の旅=川嶋均、〈インタビュー〉吉田万三・同盟新会長に聞く、なぜ同盟女性部は必要か=大石喜美江、〈資料・治維法下の闘い〉映画「伊藤千代子の生涯」製作・上映運動の「突破点」=藤田廣登、

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。